



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月26日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン  
コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 江藤 隆志  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2532  
財務本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	49,695	5.7	1,717	△55.2	1,840	△53.9	△199	—
2023年3月期第1四半期	47,018	20.9	3,834	10.8	3,993	24.4	2,790	53.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 7,358百万円(△10.0%) 2023年3月期第1四半期 8,179百万円(286.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△1.90	—
2023年3月期第1四半期	26.52	26.51

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	231,018	101,994	43.4	951.29
2023年3月期	207,890	97,040	45.8	905.17

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 100,166百万円 2023年3月期 95,310百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	208,000	△3.5	19,000	△2.7	17,000	△4.7	11,000	△6.8	104.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	108,265,842株	2023年3月期	108,265,842株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,970,190株	2023年3月期	2,970,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	105,295,741株	2023年3月期1Q	105,210,098株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における経済環境は、世界的な部材不足や価格の高止まり、欧米を中心としたインフレの進行や金融引き締め、またロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境にあって当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、「尖ったDXで、世界を丸く。」をスローガンに、持続可能な社会の実現に向け、医・食・住の諸課題をDXソリューションで解決するグローバル企業として、企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当第1四半期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

当第1四半期より、後述の〔事業の種類別セグメント情報〕に記載の通り、従来の「スマートインフラ事業」と「ポジショニング・カンパニー」の報告セグメントの区分を「ポジショニング事業」に変更しております。

売上高は、ポジショニング事業は前年並み、アイケア事業は好調に推移し、また円安の影響もあり、49,695百万円（前年同期と比べ5.7%の増加）となりました。利益面では、売上高の増加はあったものの、人員増やインフレ影響に伴う経費の増加等を吸収できず、営業利益は1,717百万円（前年同期と比べ△55.2%の減少）となり、経常利益は1,840百万円（前年同期と比べ△53.9%の減少）となりました。また一過性の減損損失の影響により、親会社株主に帰属する四半期純損失は△199百万円（前年同期と比べ△2,990百万円の減少）となりました。

#### （事業セグメント毎の経営成績）

ポジショニング事業は、北米建設市場での足元の市中在庫調整や買い控えで販売が伸び悩みましたが、国内やアジアが堅調だったことに加え、円安の恩恵もあり、売上高は32,858百万円（前年同期と比べ0.3%の増加）となりました。営業利益は、事業活動活発化、人員増やインフレ影響に伴う経費の増加等により1,772百万円（前年同期と比べ△60.4%の減少）となりました。

アイケア事業では、欧米を中心に、大手眼鏡チェーン店の堅調な設備投資意欲を背景に、スクリーニングビジネスが順調に進捗したことに加え、スクリーニングビジネスの強みを生かした基盤事業の拡大等により、売上高は16,573百万円（前年同期と比べ17.9%の増加）となりました。営業利益は、主に売上高の増加により、1,053百万円（前年同期と比べ88.4%の増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の財政状態は、総資産が231,018百万円、純資産が101,994百万円、自己資本比率が43.4%となりました。総資産は、主に売上債権等が減少したものの、棚卸資産やのれんの増加、円安の進行による在外子会社資産の増加等により、前期末（2023年3月期末）に比べ、23,127百万円増加いたしました。また、純資産は、配当金の支払による減少があったものの、為替換算調整勘定等が増加したこと等により、4,954百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（2023年3月期末）から2.5%の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました前回予想から変更はございません。なお、今後の業績推移、市況動向を注視し、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,660	21,402
受取手形及び売掛金	47,454	42,360
商品及び製品	24,309	28,566
仕掛品	2,048	2,065
原材料及び貯蔵品	25,151	29,398
その他	8,375	8,954
貸倒引当金	△1,925	△2,133
流動資産合計	123,074	130,614
固定資産		
有形固定資産	32,848	34,675
無形固定資産		
のれん	8,994	18,819
その他	21,333	21,899
無形固定資産合計	30,328	40,719
投資その他の資産	21,638	25,009
固定資産合計	84,815	100,403
資産合計	207,890	231,018
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,389	15,829
短期借入金	20,712	16,758
リース債務	2,770	2,928
未払法人税等	1,486	1,552
製品保証引当金	1,890	1,736
その他	24,032	24,675
流動負債合計	67,282	63,481
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	2,058	2,023
リース債務	7,943	8,252
役員退職慰労引当金	42	37
退職給付に係る負債	4,470	4,564
その他	9,052	10,663
固定負債合計	43,567	65,541
負債合計	110,850	129,023

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,780	16,780
資本剰余金	20,682	20,682
利益剰余金	52,635	50,100
自己株式	△3,171	△3,172
株主資本合計	86,926	84,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	891	2,299
繰延ヘッジ損益	14	14
為替換算調整勘定	7,313	13,265
退職給付に係る調整累計額	164	195
その他の包括利益累計額合計	8,384	15,775
新株予約権	63	63
非支配株主持分	1,666	1,764
純資産合計	97,040	101,994
負債純資産合計	207,890	231,018

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	47,018	49,695
売上原価	22,186	23,287
売上総利益	24,831	26,408
販売費及び一般管理費	20,997	24,690
営業利益	3,834	1,717
営業外収益		
受取利息	29	37
受取配当金	16	17
為替差益	792	762
その他	94	120
営業外収益合計	933	937
営業外費用		
支払利息	138	462
持分法による投資損失	81	17
投資有価証券評価損	430	-
出向者関係費	-	130
その他	123	203
営業外費用合計	774	814
経常利益	3,993	1,840
特別損失		
減損損失	-	1,285
特別退職金	-	89
特別損失合計	-	1,374
税金等調整前四半期純利益	3,993	465
法人税、住民税及び事業税	995	989
法人税等調整額	193	△365
法人税等合計	1,188	623
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,804	△157
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	42
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,790	△199

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,804	△157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△123	1,408
繰延ヘッジ損益	167	-
為替換算調整勘定	5,308	6,065
退職給付に係る調整額	12	30
持分法適用会社に対する持分相当額	11	12
その他の包括利益合計	5,375	7,515
四半期包括利益	8,179	7,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,041	7,191
非支配株主に係る四半期包括利益	137	166

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社は当連結会計年度を初年度とする3ヵ年の「中期経営計画2025」を策定し、その中の基本方針の一つである「基盤改革」として、「ポジショニング事業の効率最大化」を掲げております。これまではスマートインフラ事業、ポジショニング・カンパニーにおきまして地域を軸とした管理が中心でありましたが、今後はグローバルな競争優位性を高める為に事業効率を最大化することを重要視し、スマートインフラ事業、ポジショニング・カンパニーをポジショニング事業として管理していくことを主軸として参ります。

この方針により、顧客とマーケットを重視した製品・ソリューション開発をより一層加速させるとともに、適切且つ有用な経営情報の開示を行うため、以下の通り、報告セグメントの区分変更をしております。

報告セグメントを、従来の「スマートインフラ事業」「ポジショニング・カンパニー」「アイケア事業」及び「その他」の4区分から、「ポジショニング事業」「アイケア事業」及び「その他」の3区分に変更しております。

従来のセグメント区分との関係は、次の通りとなります。

「スマートインフラ事業」と「ポジショニング・カンパニー」として区分していた事業は、新たに「ポジショニング事業」に区分しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ポジショニング 事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,760	13,997	260	47,018	—	47,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	1	54	△54	—
計	32,760	14,051	261	47,072	△54	47,018
セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,472	559	△104	4,927	△1,093	3,834

(注) セグメント利益の調整額△1,093百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ポジショニング 事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,858	16,514	322	49,695	—	49,695
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	58	0	58	△58	—
計	32,858	16,573	322	49,754	△58	49,695
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,772	1,053	△51	2,774	△1,057	1,717

(注) セグメント利益の調整額△1,057百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

## 〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	18,465	11,092	2,491	4,381	2,452	38,883
連結売上高						47,018
連結売上高比(%)	39.3	23.6	5.3	9.3	5.2	82.7

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	17,289	12,911	3,587	4,443	2,830	41,063
連結売上高						49,695
連結売上高比(%)	34.8	26.0	7.2	8.9	5.7	82.6

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

中南米、中東、ロシア、アフリカ